行政評価シート(事後評価)

	事務事業名					所管	部課		
(109)) 12-2-4 市民スポー	<u> </u> 少まつり	事業			教育部	Bスポーツ振興課(旧生涯	E学習部スポーツ振興課)	
	事務事業の目的							根拠法令等	
事	3.00	ずがず木の口口							
	市民の健康づくり、スポーツのきっかけ作りと地域の活性化を図る。							□ 法律 □ 条例·規則 □ 政令·省令	
	ではいたはなし、ハススか、フックCフがリルドンとで多い方はできる。							□□ 战令·省令 □□ 要綱·要領	
務事	事类内容,宝施方法	学 /猫B	カの毎年		はつ無亜/団体	タ.団体の活動に	1次、満助会の活用		
事業		事業内容·実施方法等 / 補助の概要:補助団体の概要(団体名·団体の活動内容·補助金の活用内容等)、補助金の概要(国·都基準の有無·対象者拡大の有無·上乗せ補助額·市単独補助額)等							
の									
概									
要	、スポーツによるまちづくり交流、そして健康づくり」を目的として、体育協会加盟団体及び体育指導委員等40団体以 上の協力を得て、スポーツの楽しみを市民に味わってもらい、日常活動にスポーツの楽しみを取り入れ、老若男女、 誰もが参加できる軽運動をメインとしたスポーツまつりを年1回実施する。								
	誰もか多川 (こるキ±ノ	里凱で♪	1ノこし	にスホーラ	ま フリを牛・凹ま	毛加 9 つ。			
	事業開始時期 合併	#前から	年度	実施形態	直営「		 その他 ()	
			-1 /~					/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	
		<u> </u>		単位	16年度	17年度	18年度	19年度	
	事業費(A)	··山ム		.	1,520	1,525	1,442	1,448	
	国庫支出金・都支財が大き	出金		l					
事	源 地方債 内 その他 (千円					
業	I≐R\$		J	.	1 520	1 525	1 442	1 110	
事業費デ	一般財源				1,520	1,525		1,448	
7	所要人員(B)	- /5\		人	0.05	0.05		0.05	
タ	人件費(C)=平均給与	i × (B)		千円	416	409	408	408	
	臨時職員等賃金(C')			千円	1 222	1.00.1	4.050	4.050	
	総コスト(D)=(A)+(C)+	(C')		千円	1,936	1,934	1,850	1,856	
	単位当たりコスト	· - • uer_						77.11.	
	(E)=(D)/(参)	加人数)	千円	0.58	0.78	0.37	#DIV/0!	
	\ T エレクケ ユ	a標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度	
	活動等排								
	開催日数	実	績値	日	1	1	1	1	
	開催日数	美	溪績値		1	1	1	1	
評		美	溪績値		1	1	1	1	
評価	開催日数	美	溪績値		1	1	1	1	
価指	開催日数	実化の理	溪績値		16年度	1 17年度	18年度	19年度	
価指標	開催日数 (指標の説明・数値3 成果指	実 実 変化の理	溪績値	ビ)		17年度	1 18年度 3,000		
価指標	開催日数 (指標の説明・数値3 成果指 一 参加人数	実 実 変化の理 標	震績値 由 など	単位		17年度 2,482		19年度	
価指	開催日数 (指標の説明・数値を 成果指 一参加人数 一本事業をきっかけと	要化の理 標 目 で ま	議値 由 など 目標値	単位人	16年度		3,000	19年度	
価指標	開催日数 (指標の説明・数値を 成果指 一 参加人数 一本事業をきっかけと スポーツを開始した 数	変化の理 標 して ほりょう ここまり こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん	経績値 由 など 相標値 経績値 程績値	学位 人 人 人	16年度		3,000	19年度	
価指標	開催日数 (指標の説明・数値を 成果指 一参加人数 一本事業をきっかけと	変化の理 標 して ほりょう ここまり こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん	経績値 由 など 相標値 経績値 程績値	学位 人 人 人	16年度		3,000	19年度	
価指標	開催日数 (指標の説明・数値を 成果指 一 参加人数 一本事業をきっかけと スポーツを開始した 数	変化の理 標 して ほりょう ここまり こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん	経績値 由 など 相標値 経績値 程績値	学位 人 人 人	16年度		3,000	19年度	
価指標	開催日数 (指標の説明・数値を 成果指 一 参加人数 一本事業をきっかけと スポーツを開始した 数	変化の理 標 して ほりょう ここまり こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん	経績値 由 など 相標値 経績値 程績値	学位 人 人 人	16年度		3,000	19年度	
価指標	開催日数 (指標の説明・数値を 成果指 一 参加人数 一本事業をきっかけと スポーツを開始した 数	変化の理 標して にまま 目 実 目 実 目 実 目 実 目 実 目 実 目 実 目 実 目 実 目	議値 由 など に に に に に に に を を を を を を を を を を を を	単位 人 人 人 人	16年度 3,349	2,482	3,000 5,000	19年度	
価指標の設定	開催日数 (指標の説明・数値を 成果指 一参加人数 本事業をきっかけと スポーツを開始した 数 (指標の説明・数値を	実実理を使んの理をした。実施を使んの理をした。実施を使んの理を使んである。	議値 由 など に に に に に に に を を を を を を を を を を を を	単位 人 人 人 人	16年度 3,349		3,000 5,000	19年度	
価指標の設定	開催日数 (指標の説明・数値変 成果指 一次参加人数 ニ本事業をきっかけと 次数 (指標の説明・数値変 である。)	実実理を使んの理をした。実施を使んの理をした。実施を使んの理を使んである。	議値 由 など に に に に に に に を を を を を を を を を を を を	単位人人人人人人	16年度 3,349	2,482	3,000 5,000	19年度	
価指標の設定	開催日数 (指標の説明・数値変 成果指 一次参加人数 ニ本事業をきっかけと 次数 (指標の説明・数値変 である。)	実実 実 選 は 大 の 理 を は で の で と で の で と で と で ままま	議値 など 標値 標値 など 見	学位 人 人 人 人 大 上)	16年度 3,349 平で、好天に恵	2,482	3,000 5,000 5 5 5 日が集まる。	19年度	
価指標の設定	開催日数 (指標の説明・数値なの現場を対したなが、数 市民・関連団体 (アンケート紀	実実 実理 し人 で (等果な 変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変	議値 とき に は は は は は は は は は は は は は は は は は は	学位 人 人 人 人 人 () () () () () () () (16年度 3,349 平で、好天に恵: 体育の日の記	2,482	3,000 5,000 「民が集まる。 動会として、スポーツ	19年度 5,000	
価指標	開催日数 (指標の説明・数値を 成果指 一次参加人数 一本事業をきっかけと 次数 (指標の説明・数値を である。) (指標の説明・数値を 市民・関連団体 (アンケート紀) 都内26市のサービス	実実 実理 し人 で (等果な 変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変	議値 とと 標値 標値 種標値 見 比較	学位 人人人 人人 大 () () () () () () () () () () () () ()	16年度 3,349 平で、好天に恵: 体育の日の記	2,482 2,482 まれると多数の市 3念行事、または運	3,000 5,000 「民が集まる。 動会として、スポーツ	19年度 5,000	
価指標の設定	開催日数 (指標の説明・数値を 成果指 一次参加人数 一本事業をきっかけと 次数 (指標の説明・数値を である。) (指標の説明・数値を 市民・関連団体 (アンケート紀) 都内26市のサービス	実 変化の理 で化ので では、 では、	震 積値 など は標値値 は標値値など のど)	学位 人 人 人 人 人 () () () () () () () (16年度 3,349 平で、好天に恵: 体育の日の記	2,482 2,482 まれると多数の市 3念行事、または運	3,000 5,000 「民が集まる。 動会として、スポーツ	19年度 5,000	

コード 事務事業名	所管部課
コード 事務事業名 (109) 12-2-4 市民スポーツまつり事業	教育部スポーツ振興課(旧生涯学習部スポーツ振興課)

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、 今後改善すべき点等
事業の優先 度(緊急性)	2	事業の優先 度(緊急性)	□拡充	本事業は、スポーツ振興法第5条(体育の日の行事)により実施している事業である。
事業の 必要性	2	市民ニーズ の把握 型益者負担 の適切さ 事業主体 の妥当性	☑ 継続実施	。 今後、市内の大学等と協力して実施して いくことも検討していきたい。
事業主体 の妥当性	3		□改善・見直し	
直接のサービ スの相手方	3	事業内容等 直接のサービ の適切さ スの相手方	□抜本的見直し	
事業内容等 の適切さ	2		□休止	
受益者負担 の適切さ	2		□ 廃止	
市民ニーズ の把握	2			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、 今後改善すべき点等
事業の優先 度(緊急性)	2	事業の優先 度(緊急性) 市民ニーズ の把握 受益者負担 の適切さ 事業主体 の変当性 事業内容等 の適切さ スの相手方	□拡充	市民スポーツまつりは、誰もが参加できる 軽運動をメインとしたスポーツまつりであり、 向台グランドを会場に年1回開催している。
事業の 必要性	2		☑ 継続実施	毎年好評であり、天候にも左右されるが 3,000人~5,000人の市民が集まる事業で
事業主体 の妥当性	2		□ 改善·見直し	ある。 当面、現行どおり事業を継続するこが妥当であると判断する。 なお、 今後は、 市内の大学等との連携な
直接のサービ スの相手方	1		□抜本的見直し	どにより、事業内容の充実を図っていくこと を検討されたい。
事業内容等 の適切さ	2		□休止	
受益者負担 の適切さ	3		□ 廃止	
市民ニーズ の把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
□ 拡充 □ 継続実施 □ 改善・見直し □ 抜本的見直し □ 休止 □ 廃止	本事業は、誰もが参加できる軽運動のスポーツまつりとして実施されており、参加者数も多く費用対効果の高い事業である。 天気に左右される事業であるものの、今後も市内の大学等や体育協会との連携を図り、事業内容の充実に努められたい。